

宮城県知事候補者選挙公報

宮城県選挙管理委員会

暴走政治を止める!

本物の豊かさを県民とともに

大企業応援から、被災者・県民応援の県政へ転換!



無所属

たたら

多々良

さとし

人・食・環境を大切に作る宮城へ

私の決意

宮城の豊かな人・食・環境を守りながら、それらを活かした産業を育て、地域の中で生きたお金が回る。地域の中で健やかな介護や子育てができる。私はそんな宮城をつくりたい! 私は宮城県ならそれができると確信しています。

プロフィール 一九五八年十月十八日 大阪府生まれ 東北大学理学部中退 一九八三年あいちトリップに入社 二〇〇八年から二〇一七年九月まで専務理事 県内の主婦と農家・食品加工業者を結び付け、地産地消の安全安心な食品を開発し流通させる仕事に従事。趣味はロック音楽鑑賞と読書。学生時代はバンドでギターを担当。妻と猫3匹と共に仙台市青葉区に暮らす。

1 県民のくらし、福祉、子どもを第一に

- ◎子ども医療費助成を中学校卒業まで引き上げます
- ◎国民健康保険税を引き下げるために宮城県独自の補助制度をつくります
- ◎少人数学級の拡大・教職員の増員など教育環境の改善を図ります
- ◎私学助成を抜本的に拡充します
- ◎医療格差を強める地域医療構想を見直します
- ◎特養ホーム待機者の解消をはじめ、高齢者福祉施設の整備・拡充を進めます

2 地元の中小企業・農林漁業を応援

- ◎農林漁家の経営安定を支援し、特区等への資本参入を規制します
- ◎新規就業者に対する県独自の助成制度を設けます
- ◎農林水産物の地産地消を奨励し、普及活動を支援します
- ◎地元事業所に対する公共発注の率を高めて地場産業の発展を支援します
- ◎地域経済を循環型につくり直し、県経済の自律性を高めます

3 県民との協働で「原発ゼロ」「石炭火力発電ゼロ」へ

- ◎女川原発の再稼働に同意しません。十分な検証と情報公開のもと、県民投票を行います
- ◎地元資源を活用した「当地発電」事業を支援します
- ◎放射能汚染廃棄物は隔離保管し、住民を被ばくから守ります
- ◎福島原発事故に伴う被ばく問題に対処する相談・検査体制を整備します

4 被災者の生活と事業の再建を

- ◎被災者の医療介護の費用負担を減免します
- ◎安心して暮らす住宅の確保・コミュニティの再生を支援します
- ◎被災者や被災事業所に対する総合的な相談指導窓口を設けます



●たたら哲候補を推薦します●

阿部長壽(農協人九条の会・登米市) / 飯塚正広(あすと長町第三復興公営住宅) / 稲垣達也(ピアニスト・作曲家・富谷市) / 遠藤いく子(日本共産党県会議員) / 鹿野文永(元鹿島台町長・大崎市) / 菊地映子(元保育団体連絡会会長・巨理町) / 佐久間敬子(弁護士) / 岸田清美(社民党県会議員) / 佐々木里香(安保法関連法に反対するママの会宮城代表・仙台市) / 鈴木健三(放射能から子どもたちを守る栗原ネットワーク代表) / 山内あき子(白石市ボランティア協議会会長) / 山口二郎(安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合・法政大学教授) / ゆさみゆき(宮城県議会議員)

▶現知事 県民おきざりの12年

- 被災者はおきざりに 医療介護の減免を打ち切り / 住宅再建支援金ゼロ / 県営災害公営住宅の整備ゼロ
- 医療・福祉は全国最低水準 療養病床数は全国最下位(2015年度) / 児童福祉施設数は全国45位(2014年度)
- 子どもと教育に冷たい 少人数学級の実施学年数は東北最低 / 私学運営費補助ゼロ(2016年度) / 中学生の不登校率は全国2位(2014年度)
- 勤労世帯の実収入は全国最低(2015年度)
- 農業も切り捨て 県別食料自給率で東北最低(カロリーベース76% 2014年度) / 県の農林水産費は3分の1へ激減(1998年以降2011年まで) / 個別農家への補助制度が皆無で東北最低
- トヨタ関連で517億円のバラまき 約59000社の中小企業全体への融資額はわずか500億円
- 放射能汚染廃棄物の処分では危険な「一斉焼却」を市町村に強要
- トップダウンで独断専行 河北新報も「行き過ぎたトップダウンの弊害が見え隠れ」と指摘 / 300億円も投資する広域防災拠点施設も独断で選定
- 軽率さやモラルの点で多くの批判 観光PR動画問題で、全国からその品性に批判が殺到
- 被災者・県民のために必要な施策をやらずに約1000億円も貯めこみ

憲法9条で平和を守る 消費税10%増税に反対!

新しい県政をつくる宮城県民の会

復興完結へ!!

政策を実現するための姿勢

私は、知事に就任してから一貫して「民の力を最大限に活かす県政」、「市町村重視の県政」、「衆知を集める県政」を基本に据えてきました。4期目もこの基本姿勢を堅持してまいります。



村井よしひろ

復興のラストスパート

1 きめ細かな生活支援

- 平成30年度までに約1万6千戸全ての災害公営住宅を完成
- 災害公営住宅などの新しい生活の場で地域コミュニティが再構築されるための支援
- 被災された方々に対する丁寧な「心のケア」と「子どもの心のケア」
- サポートセンター等による見守り活動と、地域包括ケアシステムを通じた支援

2 復興まちづくりの総仕上げ

- 「高台移転」、「多重防御+内陸移転」による災害に強いまちづくり 宮城モデルの完結
- 三陸縦貫自動車道・みやぎ東北高速幹線道路の平成32年度県内全線開通

3 地域産業の再生と魅力的な雇用の創出

- 交流人口拡大のための復興ツーリズムや音楽文化イベントの開催
- 被災された事業者の事業再開、仮設店舗・工場から本設への円滑な移転支援
- 農林水産物の販路の回復、拡大および海外展開への支援

4 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の成功

- 「復興五輪」が開催される2020年は震災復興計画の最終年度。世界中からいただいたご支援への感謝の気持ちを込めて復興した姿を世界に向けて発信!

復興後を見据えた「宮城の将来ビジョン」

1 富県みやぎの新たなステージ

- 東北放射光施設の青葉山誘致による東北版シリコンバレーの実現
- 全国豊かな海づくり大会(平成32年度)の開催
- ものづくり産業のさらなる集積(4年間で130件以上)と地域産業のイノベーション支援

2 子育て世代と未来を担う子どもたちのために

- 県立高校の国際バカロレア認定取得によるグローバル人材の育成
- 遅くとも平成32年度末までに保育所待機児童をゼロ

3 誰もが安心して、いきいきと暮らせる地域社会づくり

- 新たな県民会館の整備、県美術館の大規模リニューアルの検討
- 全国のモデルとなる介護ロボット導入やICTの活用による介護職員の負担軽減と魅力向上

4 人と自然が調和した、美しく安全な県土づくり

- 広域防災拠点、8つの圏域防災拠点の整備とネットワーク化
- 広域の上水・下水・工業用水の官民連携運営体制の構築
- 総合的な治水と土砂災害防止対策の実施

次期 県政運営の 基本方針

政策の 方向性

- 1 創造的復興の実現!
- 2 「富県みやぎ」の実現!
- 3 安心して暮らせる宮城の実現!
- 4 災害に強く、命を守れる県土づくりの実現!

村井政策集2017

検索

www.murai2017.net

宮城県知事候補者選挙公報

宮城県選挙管理委員会



将来を
決めるあなたの
この一票

(大崎市 草野美咲 さん)

10月22日(日)は、 宮城県知事選挙の投票日です。

- ◎投票日当日、投票ができないときは、^{きじつぜん}期日前投票または不在者投票をしましょう。(10月21日(土)まで)
- ◎投票所の入場券が届いていない場合やなくしてしまった場合でも、選挙人名簿に登録されているご本人であることが確認できれば投票できます。

宮城県知事選挙については、
宮城県選挙管理委員会ホームページをご覧ください。

宮城県選挙管理委員会

検索